

亀山通信

発行者：浜田高校通信制課程

住所：浜田市黒川町 3749

TEL：0855-22-2549 FAX：0855-22-2549

平成28年度 入学式



4月17日（日） 21名の新入生
が通信制課程に入学しました。

平成28年度 前期始業式



4月24日（日）
今年度初めて始業
式を行いました。

スクーリングの様子



第26号の主な内容

- ◎入学式・始業式等の様子・・・表紙
- ◎校長式辞・・・P1
- ◎新任の先生方より・・・P2
- ◎地域巡検報告・・・P3、4
- ◎島根県定通体育大会報告・・・P5
- ◎保健部より・・・P6
- ◎巡回スクーリング、HPについて・・・P7

校長式辞

四月も半ばを過ぎると、校舎の周囲の桜も青々とした若葉へと変わります。うらかな春の陽ざしの本日、平成 28 年度島根県立浜田高等学校通信制課程入学式を挙行するに当たり、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜りましたことは、本校並びに新入生にとって大きな喜びであります。ご臨席いただきました皆さまに心からお礼申し上げます。

さて、ただいま入学を許可しました 21 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。浜田高等学校通信制課程は平成 24 年 4 月に設置され、今年で開設 5 年目を迎えます。この間、通信制教育の島根県西部地域拠点校として着々とその地歩を固め、今春も 30 名がこの校舎を巣立って行きました。

私は、大きな期待と一抹の不安を胸に今日のこの日を迎えている皆さんに二つのことを伝えたいと思います。

先ず、「目標達成のためには努力が大切」ということです。年齢も経歴も異なる皆さんが本校へ入学した理由は、自分のペースで学びたい、新たな気持ちで学び直しをしたい、高校卒業の資格を得たいなど、様々であると思います。ところで、通信制課程においては自学自習が基本で、自らの計画によって学習を進めることが前提となるばかりか、レポートの提出、スクーリングへの出席、そして定期考査の受験と、単位修得のためには越えなければならないハードルがあります。生半可な気持ちでは単位を修得することは出来ないという厳然たる事実があります。皆さんには、自ら本校での学びの意志を固めたということを忘れず、先生方の丁寧な指導のもと継続して努力を続け、目標を達成してほしいと願っています。

次に、「学び続けるための意欲と姿勢が大切」ということです。社会生活においては、高校卒業の資格が重視されていることは否定できない事実です。さらに、地域や国に様々な課題が山積し、その解決が求められている 21 世紀を生きていく皆さんには、今後は単に高校を卒業したということだけではなく、「何を学んだのか、どのような力を身につけたのか」ということが問われていくと思います。また、あらゆる職業において、新たな知識・技能を修得するために、また自身のスキルを向上させるために、学び続けることが求められていくと思います。それ故、通信制課程において皆さんが主体的に学ぶために培う意欲と姿勢、そして実際の取組は、生涯にわたって学び続けることが求められる「知識基盤社会」に生きる人々に必要な力であるばかりか、他に誇れる大きな力になると思います。学びの前提、また基盤となる意欲と姿勢を、この通信制課程の学びにおいて身に付けてほしいと願っています。

ここで、保護者の皆様、家族の皆様にお願いがあります。生徒諸君が通信制での学びを続けるうえで、皆様の温かいまなざしと励ましこそが、彼らを大いに勇気づけ、力を与えると私は思います。浜田高校の教職員は生徒一人ひとりを全力で支援していきますが、今後の彼らの人間的成長のために、目標の達成のために、ご家庭においても支えていただくことを心よりお願いいたします。

最後になりましたが、21 名の皆さんが今日この日の新たな決意をもとに、本校において有意義な学びを成就させることを祈って、式辞といたします。



平成 28 年 4 月 17 日

島根県立浜田高等学校長 西藤昌裕



新任の先生方より

この春赴任してきた教頭の田中です。教科は理科です。昨年度までは県東部の全日制課程の普通高校に勤めており、通信制課程で勤めるのは初めてです。赴任して約2ヶ月経ちましたが、まだまだわからないことが多く日々勉強の毎日です。私は島根半島の小さな漁師町に生まれ、そこで自然とともに育ちました。趣味は磯や野山に出かけて釣りをしたり、いろいろ食べられそうなものを見つけたりすることです。また、それを肴に一杯飲むのも大好きです。

皆さんには今年の前期始業式で3つのキーワードをお伝えしました。1つめは、「アクション（行動）を起こすと必ず返ってくるものがある」、2つめは、「我々は心身ともに前に進むようにできている」、そして3つめは「試験に制限時間はあるが人生に制限時間はない」です。どれも今までの教員生活の中で生徒たちに伝えてきた言葉です。そしてもう一つ最近生徒たちに伝えた言葉が「アクションにともなうリスクはじっとして考えるリスクよりも桁違いに小さい」です。じっとして何か考えると途方もなく大変なことに感じますが、一歩踏み出してみると、たとえそれが小さな一歩でも何か期待が膨らんできます。一歩が難しい場合は立ち上がってみてください。寝転んで見える世界は数mまでかも知れませんが、立ち上がると5kmくらい先まで見えます。そんな世界の広がり、そして希望の広がりを皆さんが感じる瞬間に寄り添えたらと思っています。よろしくお願いします。



5年間定時制で勤務していましたが、今年から通信制で勤務することになりました。

専門教科は理科の生物です。趣味は映画・旅行・体を動かすことです。ちょっと風変わりですが、面白い性格なので気軽に声をかけてみてください。座右の銘は「無為自然」です。皆さんも無理をせず、自分らしい高校生活を送ってください。



養護教諭の太田ひろみです。

みなさんの心と体のサポートを保健室でしていきたいと思います。

数年前まで「相手のために」と言いながら、「自分のために」は何もしていなかったことに気づきました。そこで、自分の心と体のためにと始めたのが「カラーコーディネート」と「姿勢調整」です。今では、要望があればカラー判定や歪みチェックをすることも。そこから、いろいろな話題に…。人から人へのつながりも広がっています。

みなさんも「自分のために」やってみませんか？



今春、定時制から異動しました辻岡です。教科は数学です。通信制は、システムが異なるのでいろいろわからないことが多くありますが、早く慣れてがんばりたいと思います。私は、浜田で生まれ、夕月匂う浜田川のそばで育ちました。現在も浜田市内に住んでいます。趣味は、旅行で、特に温泉巡りが好きです。国内千湯制覇を目指していますが、なかなか行く時間が持てないのが現状です。

最後に、若い人には「夢」を持ってほしいと思います。「夢」は本当は叶うためにあるものですが、そうならない人が多いのではないかと思います。しかし、「夢」を実現するためにした努力は決して無駄ではありません。その努力は必ず自分を成長させてくれているはずです。「夢」があることは素晴らしい事です。「夢を追いかけよう！」



地域巡検報告

島根の根っこを掘り下げる「地域巡検報告書」

担当者 石川義郎

総合的な学習の時間のタイトルは「島根の根っこ」です。私たちが暮らしているふるさと（島根＝石見）のことについて、より深く考える機会を作りたいとの思いでこのタイトルにしました。

「地域巡検」とは、そのことを実践するための第一歩だと考え今年から始めることにしました。

5月24日（火）は益田・浜田、25日（水）は大田のそれぞれ地域について、日本さらに世界に誇れる場所や物などを実際に見たり、「紙すき」や「丁銀ストラップ作り」などの体験を交えて1日掛けて巡る活動を行いました。初めての企画ではありましたが、「総学」受講者のほとんどの生徒と希望者も加わり42名の参加がありました。

生徒の多くはそれぞれの巡検場所を小学校・中学校の時に一度は訪れていたようですが、高校生になってあらためて訪れたことで、再発見や新発見がいくつもあったようでした。例えば、石見銀山や石州半紙が世界遺産に登録されていることはどこかで何かの機会に聞いたことはあっても、今日に至るまでの歴史やそれを伝え守ってきた人々の努力や思いについて深く知ることは意義深いものであったと感じました。

今回のことを1つのキッカケとして生徒1人1人に対して、ふるさとの石見地域について考え行動する力を身に付け、この地域を支え貢献していける社会人に育っていつてくれることを願っています。そのために、今から来年度の計画に取り掛かって行きたいと考えています。

<今回の巡検の内容については、別紙資料で確認してください！>

地域巡検（浜田地区）

石正美術館では、最初に学芸員の方から説明を受けました。展示してある絵のほとんどが女性で裸像であったため、芸術的な視点での鑑賞には若干のためらいもありました。

石州和紙会館では、「紙すき体験」と「ビデオ視聴と説明」の2つのグループに分かれて活動しました。紙すき体験では、「溜め漉き」を体験して絵はがきを作成しました。緊張しながらも上手に漉くことができました。本格的な「流し漉き」については、ビデオを見ながら説明を受けました。世界文化遺産に登録されましたが、石州半紙の普及拡大、後継者の育成など課題も多いと聞きました。

三隅火力発電所は、火力発電としては日本最大級もので中国地方のエネルギーの1/4ぐらいを担っているようです。地球温暖化にもしっかり対応している点もさすがだと感じました。

室谷の棚田ですが、かつては4500枚ぐらいあったようですが、現在では1000枚程度に減ったようです。あいにく大型バスであったため、全景が一望できるところまでは行けませんでした。中腹からでも十分確認できました。

最後に訪れた周布古墳ですが、これは看板はありましたが、イメージしているものとは全く違っており、生活に溶け込んでしまっていて残念な気がしました。5世紀にこの地方を治めていた権力者がいたことだけでも記憶にとどめたいと思いました。





地域巡検（大田地区）

朝から霧雨が降る少し肌寒い中、三瓶小豆原埋没林公園を目指し大田駅を出発しました。

埋没林がどれだけのものかニュースでは見たことありましたが実物を見るのは初めてで期待していました。バスの運転手さんが初めてであったため、目的地を通り過ぎるという珍事？（外観だけでは確信が持てませんでした。）もありました。しかし、いざ埋没林公園内の施設に入ると（地上から階段を地下へ降りていく）、そこには映画のセットさながらの巨大な原生林がそびえ立っており、恐竜が出てきそうな雰囲気もありワクワクした気分を味わえました。

三瓶自然館では、昼食休憩も含んでの時間だったため、プラネタリウムを見たりしていると少し忙しかったと思います。

石見銀山世界遺産センターでは、丁銀ストラップを作りました。施設見学では、スタッフの方から銀山の歴史についての説明がありました。その説明に合わせて、私の方から世界史の視点に立って当時の世界情勢（大航海時代＝貿易の拡大にともなって貨幣としての銀の需要が増えたこと）について少し触れてみました。センターを後にする頃には暑くなっていました。

地域巡検（益田地域）

朝、益田駅を出発して、津和野へ向かいました。昨年「津和野百景図」が日本遺産に認定された町で、歴史や文化を感じながら学習する1日がスタートしました。

最初の目的地である「乙女峠マリア聖堂」では、山の中腹に建立された聖堂まで少しハイキングの気分を味わいながら登りました。日差しが暑く、生徒達に少し疲れも見られましたが、無事に見学することが出来ました。その後、殿町通りに移動して和紙漉き体験をしました。ユネスコの無形文化遺産に記載された「石州半紙」の特徴をしり、約1300年も変わらぬ製法で漉き続けられている手漉き和紙ではがきを作成しました。そして、殿町通りを中心に津和野の町を散策して、様々な和紙の製品に触れることも出来ました。

次に「太鼓谷稲成神社」へ移動しました。暑さは和らぎましたが、風が強い中での参拝となりました。徒歩で神社まで登ったため、みんな疲れた様子でした。ここで昼食休憩をして、少し元気を取り戻しました。

この後、幼少時代を津和野で過ごした明治の文豪、森鷗外に関する資料や遺品が展示してある「森鷗外記念館」と「森鷗外旧宅」を見学しました。そして、同じく明治時代の啓蒙思想家・哲学者である、西周が21歳まで暮らした家や勉学に励んだ土蔵を見学しました。

歴史的なことが理解しにくい面もありましたが、郷土に関係する人物や有名な場所、郷土の文化に触れることの出来る1日になったのではないのでしょうか。この巡検を1つのきっかけにして、郷土に関心を持ってくれると良いと思います。



島根県定通体育大会報告

平成 28 年度 島根県定通体育大会

浜田高校通信制 剣道男子個人で優勝！

卓球女子個人 1 名、剣道男子個人 1 名が、全国大会出場権獲得！

平成 28 年 6 月 4 日（土）、島根県立宍道高等学校で全国高等学校定時制通信制体育大会（東京・神奈川）の予選を兼ねた、県大会が行われました。県内 3 校の代表選手たちが、日ごろの練習の成果を発揮するために熱い戦いが繰り広げられました。浜田高校通信制からは、バドミントン男子個人、卓球女子個人、剣道男子個人に、計 5 名が出場しました。

バドミントン競技では男子 2 名が決勝リーグに勝ち進みましたが、惜しくも 3 位と 4 位でした。昨年度全国大会に出場した浜田高校定時制の 2 名が 1 位 2 位を独占しました。卓球女子では、昨年度以上にレベルの高い試合の中、決勝トーナメントに勝ち進みました。惜しくも 3 位決定戦で、フルセットの激戦の末に敗れ、4 位でしたが、全国大会への出場権を手に入れました。剣道男子は 3 名出場の総当たり戦でした。見事に全勝し、優勝を勝ち取ることができました。

今回出場した生徒さんも、また出場しなかった生徒さんも、来年度もぜひ参加し、緊張感や達成感、充実感を味わってほしいと思います。直前の結団式に参加してくれた生徒さんをはじめ、当日も保護者・家族の方を中心に多くの方々に応援していただきました。本当にありがとうございました。



保健部より



皆さんは、梅雨の時期をどう過ごしていますか？この時期の雨は「穀雨」といい、お米の成長には欠かすことのできない大切な役目があります。また、紫陽花をはじめ木々はみずみずしく輝きを増します。人の体はまだ暑さになれていない時期で熱中症も起きやすい時期です。体調管理をこころがけましょう。

熱中症は予防できます

- ① 暑い日はぜったい無理をしない
- ② 適当に休憩する。頑張り過ぎない
- ③ こまめに水分補給する

上手に水分補給しよう

軽い脱水状態のときはどの渴きを感じません。

このため、

- ・運動を始める前に水分補給
- ・のどが渇く前に水分補給
- ・激しい運動をするときは30分に1回
- ・大量に汗をかいたら、スポーツ飲料などで塩分も補給
- ・冷たい飲料（5～15℃）を用意する



- ④ からだを暑さに徐々に慣らしていく
- ⑤ 汗を吸う・すぐ乾く素材のものを着る
- ⑥ 炎天下では、帽子をかぶる
- ⑦ 下からの反射熱を吸収しやすい黒い服は避ける
- ⑧ 集団活動中は、お互いを配慮する
- ⑨ 気分が悪いとき、気軽に言える雰囲気をつくる



☆スクールカウンセリングの

お知らせ☆

今年度からスクールカウンセラーは永崎節子先生です。水曜日を中心に来校されます。日・火曜日は教育相談員の



こうのようこ

河野洋子先生



つるはらみちこ

鶴原理子先生

が来られます。保護者の方の相談も受けつけています。ご希望の場合は、事前に担任または保健室へお申し出ください。

学校健康診断が終わりました。

5月31日（火）浜田校で眼科・歯科・耳鼻科と健康調査を実施しました。検査の結果は後日学校を通して送付予定です。再検査や要治療の指示があった人は、早めに受診をしましょう。



健康診断を受けていない人へ

保健室では毎年健康診断を実施して生徒のみなさんのからだの状態を把握し、健康で安全な学校生活を送ることができるようサポートしていきます。健康診断はみなさんが自分自身の成長や健康状態を知る記録となり、また、からだの異常の早期発見・治療にもつながります。年に一度受けておきましょう。

職場やその他の機関で健診を受けたら

すみやかに結果の写しを提出してください。



巡回スクーリングを活用しよう!!

巡回スクーリング
ってなにや～？

巡回スクーリン
グとはね・・・



次回の巡回スクーリングは
大田協力校 7月10日
益田協力校 7月 3日です。
時間割等はホームページで確認してく
ださい。

巡回スクーリングとは、今年度新
しく始めたスクーリングの一つで
す。本校の教員が協力校の生徒と勉
強したり交流したりするために、全
員で協力校に行き、スクーリングをし
ます。今年度は前期 2 回、後期 1 回
実施する予定です。

すでに前期 1 回目の巡回スクーリ
ングは終わりましたが、7 月に 2 回
目を実施します。

前期のレポート締切が迫っている
時期ですので、

レポートの分からないところを教
えてもらうのも良し!!

試験勉強をするのも良し!!

先生たちに会いに来て話をするも
良し!!

せっかくの機会ですので、有効に活
用してください。

浜田高等学校 定時制・通信制課程のホームページをご覧ください。



↑
トップページの一部です

「通信制」には、スクーリングの時間割
や、行事のお知らせなどが掲載してあり
ます。

行事カレンダーの日付をクリックしてス
クーリングを選ぶとその日の時間割が確認
できます。

他にも日々の活動の様子を掲載している“学校ブログ”などもあります。ぜひ、一度のぞ
いてみてください。

スマホでも見れますよ～ ちょっと小さくなりますが・・・°°(>_<)°°

アドレス <http://www.shimanet.ed.jp/hamadat/>